

のばらはちまぐうふうりゅう
野原八幡宮風流

- (1) 指定年月日 ユネスコ無形文化遺産「風流踊」 令和4年11月30日
国指定重要無形民俗文化財 令和3年3月11日
国選択無形民俗文化財 平成27年3月2日

(2) 文化財の概要

野原八幡宮風流（以下、風流）は、熊本県荒尾市の菰屋、野原、川登の3地区にそれぞれ伝わる民俗芸能で、毎年10月15日の野原八幡宮大祭・通称「のばらさん」において奉納されている。約770年以上の歴史があるといわれ、悪魔祓いが起源とされている。

風流は、二人の稚児が獅子頭に見立てた笠をつけ、成人男性による歌や笛に合わせて小太鼓と大太鼓を打ちながらゆったりとした動作で舞う。獅子頭に見立てた笠は、笠切と称して各地区の人たちが毎年新調する。風流は口伝により伝わり、舞いや衣装等は3地区で少しずつ違いがある。

風流は24都府県41件の国指定重要無形民俗文化財から構成される「風流踊」の一つとして、令和4年11月30日にユネスコ無形文化遺産に登録された。



菰屋地区



野原地区



川登地区

せつとうぎょうじ
節頭行事

- (1) 指定年月日 荒尾市指定無形民俗文化財 昭和51年3月16日

(2) 文化財の概要

節頭行事は、旧荒尾手永28地区（荒尾市・長洲町含む）のうち輪番3地区により担当され、毎年10月15日の野原八幡宮大祭・通称「のばらさん」において風流と併せて奉納され、五穀豊穰を祈願する。「野原八幡宮祭事簿」には、建長4（1252）年から行事が記録されている。

節頭行事は、奉行を先頭に節頭（稚児）を神馬に乗せ、仲間頭を先頭に馬の手綱を仲間4人が引きながら「ヘーロイ ヘーロイ」と掛け声を上げ御供人とともに地域を訪問し、野原八幡宮に神幸する。歌は仲間頭が歌い、仲間が「ヨーイトー コヨイ」と呼応し、各地域を廻るときは御祝いの歌を歌う。境内では輪番順に入場し、奉納歌を歌う。節頭行事のあとに風流が奉納される。



拝殿前での奉納歌



輪番表